

たかおか

特集

新会長抱負を語る

0からわかる！キャッシュレス決済基礎知識

経営相談 税務・労務Q&A

税務●キャッシュレス決済のポイント還元制度について
労務●定年引き上げに伴う賃金減額について

談話室●睡眠と運動における富山県民の位置

フレッシュさん登場

浜野 菜さん【株式会社富山県福祉旅行センター】

メンバーズニュース

●エステティックジュビラン 穂の和～ほのか～
●卓球モンスター



新会長 抱負を語る

今年度、変更となった各団体の新会長に抱負を伺いました。
 (高岡商工会議所女性会は今年度会長の変更はありません。)

高岡商工会議所青年部

会長 阪口 剛史



共立金属工業(株)
 高岡市北島851
 三協マテリアル高岡工場内
 ☎0766-30-2233
 座右の銘：有言実行

自分が変わる、周りを変える ～未来への選択肢を増やそう～

創立53年目の活動を行うにあたり、我々現役会員は諸先輩方が築いてこられた功績とその恩恵を糧として更なる活動を行い、未来へ糧を繋いでいく事が必要であると考えます。

また、平成31年度は働き方改革関連法の施行や令和への改元、消費税の増税等、日本中がこれまで我々が経験したことのない大きな変化を迎える一年であります。この大きな変化の中で我々が生き残っていくためには、変化に立ち向かうのではなく、自分を変化することで柔軟に対応していくことが必要となります。

そこで、今年度は我々一人一人が現状に満足すること無く

様々な事業に挑戦し、自己が変わるきっかけを掴む一年とします。新たな経験とその過程で発見した自分の新たな一面をもつて自身の器を広げること、そして自分の変化を波及させて周囲を変えることがより良い未来を掴む事に繋がると信じ、一年間活動していきます。皆様のご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

4月7日(日) 総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、約120名が参加しました。阪口会長は、「改元や働き方改革関連法施行といった時代の変化の中、自分たちも変わり、より良い未来を切り開いていきたい」と挨拶。

今年度の事業計画案として、働き方改革を進めるために業種ごとの課題や優良事例を学ぶ研修会の開催や観光誘客のために昆布などの特産品を使った料理を組み込んだ旅行商品の造成等が承認され、ワーキンググループ経営委員会や観光革新委員会等を新設しました。



〈今年度主要事業〉

- 今後の青年部活動に関する考察
- 継続事業の更なるブラッシュアップ
- 行政との連携強化

高岡伝統産業青年会

会長 尾崎 迅



迅福堂
 高岡市大町6-8
 ☎080-5359-2082
 座右の銘：全ての事がらは課題解決へのヒント

継続と革新による更なる成長!

高岡の伝統産業の若き担い手たる伝統産業青年会は、諸先輩方のためまぬ努力や未来への前向きな姿勢により道を切り拓いてきました。代々で少しずつ変化を加えながら時代に合った活動を模索してきた結果が今の伝産を形作っていると思います。

人が行き交い、技術がやり取りされることで、少しずつ高岡の伝統産業にまつわる物事が進んできました。私としては青年会活動を通してそのようなきっかけ作りを心がけ、継続と革新の思いを忘れずに成長を目指して全力を尽くします。特に今年は職人や問屋といった職能を問わず、手持ちの強みを理解しかみ砕いてビジネスの場に変換し、いかに届けるかというPR力強化に励みたいと思っております。先輩方の築いたことを大切にしながら次の世代へ続く事業を育て、会員それぞれの仕事やひいては伝産、高岡の発展へ繋がるよう三丸となって取り組んでまいります。皆様のかかわりご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

4月10日(水) 総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、約40名が参加し

ました。尾崎会長は、「平成最後、令和最初の会長として頑張っていきたい。高岡伝統産業青年会の人材、素材、環境をフルに活かし、伝統産業のファンを増やしていきたい」と挨拶。今年度の事業計画案としてクラフツリーズモヤかほり展の開催等の事業が承認され、青年会活動や会員企業のPR力強化等を目的とした勉強会を開く内部強化委員会を新設しました。



〈今年度主要事業〉

- 高岡の伝統産業・職人の技をPRする展示イベントの開催
- 産業観光イベント、高岡クラフツリーズモヤの開催
- 後継者・若者の定着に向けた伝産の学校の開催
- 会員相互の交流を深め、結束力を高めてモノづくりやビジネスにいかす事業の開催

伏木商工業青年部会

会長 大島 喜雄



Men's hair Design OSHIMA
高岡市伏木東一宮12-16
☎0766-44-0528
座右の銘：雲外蒼天

「変化で街を元気に」

日本の新たな歴史を生み出した「平成」から、「令和へ」と新たな時代へ変わりいくなかで、会員自身や自社の成長に繋がること、地域が元気になる事業に取り組んでいきたいと思えます。

その中、昨年度から取り組んできた事業「段ボールけんか山」が、本年4月に完成し、地域のお祭りの伏木けんか山を通して、町の子供たちが参加するキッカケを作り盛り上げていきたいとの思いです。

段ボールで作成した目的の二つには、「子供たちの自由な発想・想像力で色を塗ったり、パーツを取り付けたりして、オリジナルのけんか山を作ってもらいたい」という会員の意見からです。今後この事業を通して、新たなイベントに取り組んでいきたいと思えます。皆様のご支援とご協力を賜れますようお願い致します。

4月9日(火) 総会が開催されました

伏木コミュニティセンターで総会を開催し、22名が参加しました。大島会長は「今後、伏木商工業青年部会が組織として長らく生き抜くためにも、ここでしっかりと過去を振り返り、未来のためにさらに良くなるべく、私たち自身も変えていかなければならない」と挨拶し、昨年度から取り組んでいる「段ボールけんか山」の商品化も整備したことから、伏木曳山祭で販売していくことなど、事業計画・予算の承認がなされました。



〈今年度主要事業〉

- 販わい創出事業 ●伏木港まつり ●経営者研修会
- 伏木けんか山グッズ(段ボールけんか山)の製作・販売

高岡商工会議所女性会

会長 大野 朝子(再任)



株古城製作所
高岡市野村600
☎0766-21-1012
座右の銘：ひたすらに生きぬく

4月15日(月) 総会が開催されました

高岡商工ビルにて総会が開催され、約30名が参加しました。大野会長は「今年は女性会創立55周年を迎える年であり、記念事業も予定しているため、女性ならではの感性と発想力で地域を盛り上げたい」と意気込みを述べ、平成31年度事業として、高岡御車山祭りが行われる5月1日のチャリティーバザーや、鹿児島で開催される全国総会への参加などを承認しました。



〈今年度主要事業〉

- 経営・文化・教養など各種資質向上を狙いとした研修や講演会の開催
- 宮商工会議所女性会との交流・連携
- 全国商工会議所女性会連合会鹿児島総会への参加
- 会員増強運動および組織強化の推進

0からわかる！ キャッシュレス

決済基礎知識



国は、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会開催等を視野に入れたキャッシュレス化を推進しており、2027年までにキャッシュレス決済比率を4割程度まで高めることを目指しています。今月は、今注目されている「キャッシュレス決済」について、その種類や特徴を解説します。

「キャッシュレス決済」とは何か

「キャッシュレス決済」とは、物理的な現金（紙幣・貨幣）を使用せずに支払いや受取りを行うことと定義されています。キャッシュレス決済には大別して3つの種類があります。

キャッシュレス決済の3タイプ

消費者にとってキャッシュレス決済を利用する主なメリットとしては、◎小銭を出さなくて良い、◎現金をおろす手間がなくなる、◎落としても利用を止められる、◎使った記録が残る、などが挙げられます。一方、中小小売店にとっては、キャッシュレス決済は現金のやり取りがなく、会計や売上集計が簡単になるため、◎人手不足の解消、◎オペレーションの効率化が見込める他、キャッシュレスに慣れた若年層や外国人観光客などに対応できることから◎今まで獲得できていなかった新規の開拓が見込めるというメリットがあります。

キャッシュレス決済の現状

日本のキャッシュレス決済比率は、2008年の11.9%から2016年には20.0%へと推移し、

【接触型】

プラスチックカードを用い、端末で読み取る
(カードの磁気やICチップを直接読み取る)



【非接触型】

プラスチックカードやスマホを用い、端末にタッチする
(半径10cm程度の磁界を発生する読み取り機にICカードをかざすと、カード内部のコイルが磁気を受けて電流を発生し、起動したICチップとデータ通信する仕組み)

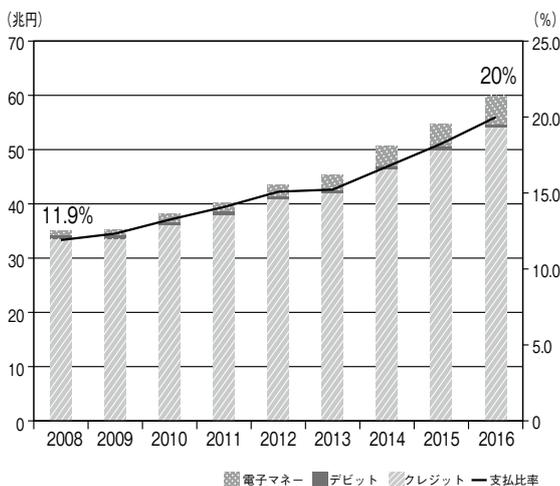


【コード読み取り型】

スマホを用い、QRコードやバーコードを読み取る



キャッシュレス支払額と
民間最終消費支出に占める比率



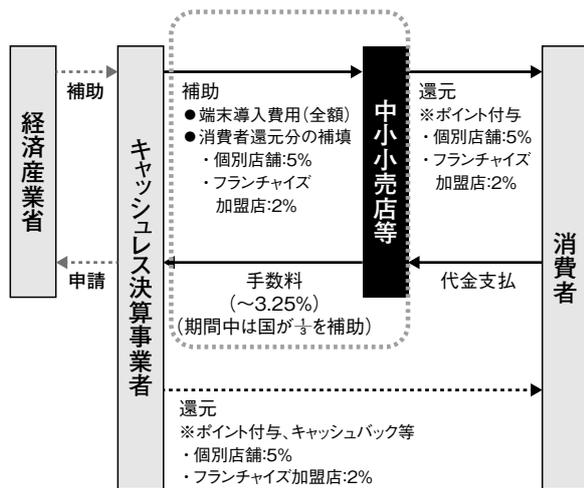
出典：経済産業省「キャッシュレス・ビジョン」

8年間で8%程度上昇しています。このように着実にキャッシュレス決済が浸透している状況にあるものの、キャッシュレス化が進展している中国(キャッシュレス決済比率60.0%) (経済産業省「キャッシュレス・ビジョン」)よりなど他国と比較すると十分に普及しているとは言えません。クレジットカードや電子マネーをはじめとする従来型の「キャッシュレス決済」が、わが国で普及しにくかった背景には、小規模な事業者にとって負担が大きかったことが一因に挙げられます。ところが昨今は「タッチ決済」や「QRコード決済」など新たなサービス形態が相次ぎ登場してきたことで、中小店舗にとって選択肢は増えています。

国の支援策

このような中、国はキャッシュレス決済の普及を一層進めることと併せ、2019年10月1日の消費

キャッシュレス・消費者還元事業の仕組み



経済産業省「平成31年度「キャッシュレス・消費者還元事業」に係る補助事業者募集要項」を参考に作成

税率引上げに伴う需要平準化対策として、消費税率引上げ後の一定期間に限り、中小・小規模事業者によるキャッシュレス手段を使ったポイント還元を支援する『キャッシュレス・消費者還元事業』の実施を予定しています。この事業では、対象を電子的に繰り返し利用できる決済手段としており、制度を利用することで、中小小売店は端末導入の負担を0(無料)に、また、決済手数料を3・25%以下(期間中は国がさらにその1/3を補助)に抑えることができます。(次頁で制度の詳細を解説しています)

決済ツールの選択

ひと口に「キャッシュレス」と言っても、消費者と店舗の双方にとってあまりに選択肢が多く、キャッシュレス決済未導入の中小小売店は、決済ツールの

選択で迷っておられることと思います。そこで、「消費者」「中小小売店」それぞれの視点を理解することで、購買シチュエーションに応じた決済ツールや、自店に適したプランを選択しやすくなります。

1. 消費者の視点

「消費者」が支払手段を選択する際の検討軸には、①どのタイミングで自分の資産から支払われるのか、②何を提示することで支払えるのか(支払いの媒体)の2つがあります。

①については、「前もって支払う」「いま支払う(即時で銀行口座から引き落とされる)」「後で支払う(月末等にまとめて支払う)」の3通りあります。「前もって支払う」ものにはプリペイド、つまり事前に現金・銀行口座・クレジットカードから任意の金額をチャージしておき、チャージした範囲内で使える「電子マネー」があります。次に「いま支払う」ものは、銀行口座と連携して即時に支払を完了させる「デビットカード」があります。「後で支払う」ものの代表例はクレジットカードです。②については、物理的な媒体として「スマートフォン」「プラスチックカード」の2種類があります。

このように、消費者の選択肢には、3通りの支払いタイミングと2通りの支払い媒体を掛け合わせた6通りが存在します。

2. 中小小売店の視点(実現したい点)

一方、中小小売店が、決済ツールの導入を検討する際にまず考えるべきは、「消費者ニーズに如何に

適合させるか」という点です。自店のお客様はどのような決済を望んでいるのかイメージして検討することが重要です。

次に重要なのは、自店がキャッシュレス決済を通じて実現したいことは何か(例えば個社の業務効率化、売上向上への期待、データ活用による、経営の見える化、若年層や外国人観光客需要の新たな取り込みなど)という視点です。

また、導入にあたっては、「決済手数料」の負担、決済端末・ネット環境等の「設備投資費用」の負担※、売掛金の入金までの「タイムラグ」、といった点にも注意が必要です。(※前述の『キャッシュレス・消費者還元事業』により、決済手数料と設備投資費用について負担を緩和することが可能です。)

このため、中小小売店は、「消費者のニーズ」「売上増(顧客増・客単価増)等への期待」「自店の業務効率化」を見据えつつ、「費用対効果」を鑑みて、キャッシュレス決済導入の検討や、決済ツール等の選択をすることが重要と言えるでしょう。

【一般社団法人キャッシュレス推進協議会の寄稿による連載記事を高岡商工会議所の編集責任のもと内容の要約をしています。】

キャッシュレス・消費者還元事業

詳細 <https://cashless.go.jp/>

ポイント還元問合せ窓口

(中小・小規模事業者向け)

☎0570-000655



P H O T O

L I B R A R Y



3.29

高岡商工会議所女性会 チャリティ事業

高岡まこと銀行へ寄付金を贈る

高岡商工会議所女性会の正副会長4名が高岡市 福祉保健部社会福祉課を訪問し、チャリティオープンセミナーの収益金73,000円を高岡まこと銀行へ寄付した。大野朝子会長は「市内の子供たちの社会福祉向上に役立ててもらえたら」と語った。チャリティオープンセミナーは、2月に高岡商工ビルで高岡市立博物館主査学芸員 仁ヶ竹亮介氏を招いて開催しており、女性会会員や一般市民など71名が出席した。



3.27・28

新入社員歓迎式・新入社員研修講座

会員事業所30社の新入社員が 社会人としての基本を学ぶ

平成31年度4月入社予定及び入社2年未満の従業員を対象とした新入社員研修を2日間にわたって開催し、30社63名が参加した。研修冒頭の講話で齊藤栄吉副会頭は「夢を持ってほしい」と激励した。講師に(株)さくらコミュニケーションズ古川智子氏、上田弥生氏を迎えた講座では、挨拶や電話・来客対応などの基礎知識の解説やロールプレイを通して参加者はビジネスマナーや仕事への取り組み方について学んだ。



4.2

商工会議所検定1級合格証書授与式

珠算能力検定試験1級合格者が 合格証書を受け取る

日本商工会議所が主催する検定試験1級合格者への合格証書授与式を高岡商工ビルで行い、珠算能力検定試験1級合格者が川村人志会頭から証書と記念品を受け取った。授与式では川村会頭が、「資格取得を通して学んだことを、将来に生かしてほしい」と合格者をねぎらった。第215回の1級試験では全国で9,108名が受験し、2,430名が合格している。

▽第215回珠算能力検定試験1級合格者

山田 亜津子 さん(高岡市立伏木中学校1年生)



4.5

新社会人のつどい

新入社員が社会人の心構え学ぶ

高岡市の新社会人のつどいが市生涯学習センターホール(ウイング・ウイング高岡)で行われ、市内の40事業所に就職した新社会人約180人が参加した。先輩からの体験発表では、高岡銅器の着色会社「モメンタムファクトリー・Orii」の営業部に勤務して2年目の井ノ口鈴さんが働く上で大切にしていることを発表。射水市の、まちづくりとデザインの事務所「Worldly Design」代表 明石あおいさんの講演があり、参加者は社会人としての心構えを学んだ。

Pickup!



4.14

伏木港開港120周年を記念して伏木観光まつりが勝興寺をメイン会場として開催され、地域住民らによる歌や舞踊などの芸能発表会や、朝市、坂道フリーマーケット等が催された。伏木海上保安部による岩崎ノ鼻灯台の一般公開では、満開の桜との共演を写真に収める家族連れや普段入れない灯台の上部へ駆け上がる姿があった。また、勝興寺前参道では、園児たちによる白象行列も行われ、多くの地域住民らで賑わった。

伏木観光まつり

勝興寺が多くの人で賑わうワクワク空間に



4.12

5月15日を中心とした田植えの推進

富山米の品質向上に

JA 高岡より協力の呼び掛け

「5月15日を中心とした田植えの推進」実施について協力を求めるため、JA高岡の萩原清代表理事組合長らが当所を訪問した。これは近年の夏期の高湿傾向に対応した米の品質向上対策として、富山米新品種の「富富富(ふふふ)」をはじめとするコシヒカリの品質向上を目的とした取り組みである。萩原代表理事組合長は「田植え時期が5月15日を中心となるよう、田植えならびにそれに伴う休暇取得に配慮をお願いしたい」と要請し、当所萩原隆夫専務理事は会員事業所へ広く周知することを承諾した。



4.11

交通・新幹線対策常任委員会

敦賀で駅舎や港周辺施設などを見学

交通・新幹線対策常任委員会がJR敦賀駅や敦賀港等の視察会を行い10名が参加した。JR敦賀駅では、敦賀市職員に2022年度末に開通予定の北陸新幹線の整備状況や敦賀駅周辺の開発について説明を聞いた。敦賀港では、敦賀国際ターミナル職員に敦賀港の施設や利用状況、活用方法について説明を聞いた。その後、みなとつるが山車会館や敦賀駅の「銀河鉄道999」や「宇宙戦艦ヤマト」の銅像が建ち並ぶ敦賀シンボルロードを視察し、まちづくりの参考とした。

P H O T O
L I B R A R Y